

【山吹上】令和8年7月29日

番号	担当課	項目	分類	質問・意見の要旨 / ◆アンケート	回答などの要旨
1	建設課	かわまちづくり事業	意見	国スポがR10年度に開催される。今後の跡地利用についてこれから検討されるのとこのだが、何も使われずに荒地地になってしまうようなことがないように、ぜひお願いしたい。	国スポが開催されるMIZBEステーションの国道側は、河川防災ステーションとして、国が防災資材を整備します。また、南側の河川合流地点にはヘリポートが整備されます。一方、天竜川側は賑わいの拠点として、公園化のほかに道の駅のような建物を作る計画です。公園部分については、オートキャンプ場やスケートボードパークにするなど様々な意見が出ていますが、現時点で使用用途は決定しておらず、まずは国スポに向けて整備を進めている状況です。今後さまざまな計画案が出てくると思いますので、ぜひご意見をお寄せください。
2	建設課	河川の維持管理	質問	今年から河川清掃が自由参加になった。田沢川の底は水が染みているし、壁面から草木が生い茂っており、住民だけではとても清掃をやりきれない。清掃が途中で終わってしまい、残った木がどんどん太くなっている。町で全部やるとは限らなくても、三面張りにするなど、町としても何か対応できないか。	今年度、河川清掃を実施していただいたことに改めて感謝申し上げます。ご指摘の田沢川については、1級河川で本来は長野県が管理する河川です。三面張りの改修等については、地域からの要望として県に挙げていますが、町内には県管理河川が多く、県の財政的な事情もあってなかなか改修に入れないのが現状です。引き続き、県へは要望を届けてまいります。一方、町としても河川清掃が必要となるひとつの原因である河川内の堆積土砂の撤去と護岸の支障木除去については、5年間で約1億円の予算をかけ、集中的に整備を行っていく計画です。
3	産業課	鳥獣害対策	意見	電気柵やGPSなどの取り組みで、一時数が減って効果が出ていると思います。ただ、猟友会も高齢化しており、山吹の中で銃を撃てる人がいません。どんどん猟友会の人たちが減っていく中で、罠をいくつも設置するなど大胆なことをやっていかないとダメだと思います。住民だけでは厳しい状況なので、檻の設置を今後も積極的にやってほしいです。	有害駆除従事者の罠見回りの負担軽減するために長距離パトロールシステムの導入、サル行動を追跡するためにGPS首輪取付、捕獲檻を導入し個体数の減に取組んでいます。また有害鳥獣対策として緩衝帯の整備を実施していますが、地域の皆さんには、藪刈払い、放任果樹の除去等、動物を寄せつけない取り組みをお願いします。農作物を守るために、防護柵等の設置補助金もありますので、ご活用いただければと思います。
4	産業課	鳥獣害対策	質問	去年は50匹以上サルを捕獲できましたが、今年は檻の設置ができておらず、来年に向けては今準備されているという話は聞いています。1年空ける必要はなかったんじゃないでしょうか。効果もあったやり方だったので、毎年効果があるようにスピード感を持って取り組んでいただきたいです。	昨年は五稜の森でサルをたくさん捕獲できましたが、昨年の冬から今にかけてなかなか捕獲が進んでいなかったことで、ご迷惑をおかけしております。町で昨年の冬にかけても行ってた取り組みとしては、吉田と新田原に檻を置いておりました。地区の皆さんに協力していただき、捕獲には努めてきましたが、どちらの檻でも、檻の近くに来るところまでは確認できましたが、檻になかなか入りませんでした。入るケース入らないケースについて我々も知識が不足している部分がありますので、引き続き猟友会の皆様と一緒に研究をさせていただきながら、効果的な捕獲の方法に取り組んでいきたいと思います。また、目撃情報や何が食べられたかなどの情報が貴重なデータとなっていくしますので、地域の皆さんも何か情報がありましたら営農支援センターゆうきへご連絡いただければと思います。猟友会の高齢化や、銃の所持・免許更新にかかる負担が大ききことにより、免許を取っていただける方が町内で減ってきているというのは事実です。補助制度の見直しなども随時行っていきますので、もし新しく免許を取ってくださる方がいる場合には教えて頂ければ、費用負担の軽減など町としてしっかり検討してまいります。
5	産業課	農業振興	アンケート	◆農業がこれからも発展して行ける仕組みを検討していただき、これからの高森町の農業に補助金、協力等よろしくお願いします。	農業は町における基幹産業のひとつで、農業の持つ多面的機能は皆で享受するものと考えています。地域の話し合いを通じて策定する地域計画を更にブラッシュアップして概ね10年後農業経営、担い手確保に繋げてまいります。また、令和7年度から農業経営を支える機械・設備の導入・整備を支援するために、補助率 1 / 2 で上限100万円の農業用機械等整備補助金を設けましたのでご活用をお願いします。
6	総務課	自治組織	アンケート	◆自治組織のあり方検討委員会が発足したようですが、委員の中に自治組織に加入していない町民も参加していただき、問題点の洗い出しを行い、有意義な委員会となるようにしていただきたい。	初年度となる令和8年度は、まずは現在の組織の課題整理と未来のありたい姿を検討することとし、正副区長と前区長、町長以下役場職員による委員会で検討を始めました。まずはこの委員で検討を進めていきますが、加入未加入に関わらず町民の皆さんにも関心を持っていただき、様々な形で検討に加わっていただく予定です。
7	教育委員会	子育て支援	アンケート	◆新入小学生に対し町支給でのランドセルを提供してほしい（ランドセルは高額）。	R6年度から中学校の通学カバンについては、町からプレゼントしており、またR7年度からは「学用品費」「修学旅行費」については町が負担するようにしています。なお、R4には子育てに関するアンケートで、参考までにランドセルの購入等について当時の保護者からご意見を把握した経過があります。この際には、138件の回答のうち4：3で「町で補助してくれるのであればありがたい」という「町の負担を望む」回答のほうが若干多い状況でした。一方で、「ランドセルは子どもに選ばせたい」という意見も多く、今の時点では公費負担によるランドセル配布は検討していない状況です。今後は子どもたちからも意見があれば、検討していきたいと考えております。